

<日程変更>

NO. 20 シリーズ講座～産業・組織心理臨床基礎研修（全 5 回）

第 2 回 産業保健心理学と産業・組織心理臨床との関わり

諸般の事情で、シリーズ講座の第 2 回と第 4 回が入れ替わりしました。本講座は、第 4 回（11 月 6 日）としてご案内しておりましたが、今般第 2 回（8 月 28 日）として開催することになりました。お申込みされる場合にはご注意ください。

1. シリーズ講座の目的

このシリーズ講座は、産業・組織心理臨床の初学者またはこれから産業・組織心理臨床へ参入を希望する方を対象とした基礎的な研修会です。

産業領域のフィールドは、企業組織だけではなく、地方自治体・警察・団体組織などをも対象とするようになりました。また臨床心理士が組織に関わる必要性はどの領域でもあるのですが、産業領域においては、特に強くそれが求められます。

この講座の主な目的は、以下のようになります。

- 1 産業・組織領域での臨床心理士が、閉鎖的な心理主義に陥らないように、様々な他領域の視点から幅広く学ぶ
- 2 他領域・他職種との連携で成り立ち、いきいきと活性化する産業・組織心理臨床を目指す
- 3 産業・組織心理臨床において、組織に関わるスタンスの重要性を実践的に理解する。

2. 今回の講座の内容等

バブル経済崩壊後、わが国の社会経済状況は大きく変化しています。たとえば、失業率は 3～5%の間で推移し、労働者の雇用不安も増加しています。また、能力開発の主体が企業ではなく従業員個人の責任であると回答する企業も増加しています。さらに、産業構造の変化（サービス業の増加）、働き方の変化（裁量労働制など）、情報技術の進歩により、仕事と私生活との境界があいまいになっているほか、共働き世帯数も増加し続けています。

こうした変化を受け、職場のメンタルヘルス活動においても、(1) 労働者個人への対応だけでなく、職場環境にも働きかける対策、(2) 従来の第 1 次、2 次、3 次予防にとどまらず、個人や組織の活性化を視野に入れた対策（0 次予防）などが、広い意味での労働者の「こころの健康」を支援するうえで重要になってきました。

本講座では、働く人々の強みを伸ばし幸福を支援する心理学の応用領域である産業保健心理学と産業・組織心理臨床との関わりについて、国際動向、ポジティブ・メンタルヘルス、経営とメンタルヘルスなどの話題を含めながら講義とワークを行う予定です。

3. 講師 島津 明人（東京大学）

4. 日時 平成 28 年 8 月 28 日（日曜日）10:30～16:30（10:15 開場）

5. 会場 文京区本郷 2-27-8 太陽館ビル 202 号室（財）日本心理研修センター研修室

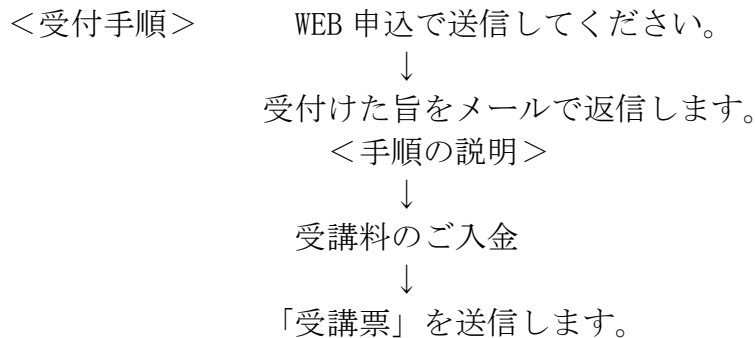
6. 参加費	社) 日本臨床心理士会 会員	5,000円
	臨床心理士 非会員	8,000円
	大学院生 (臨床心理士資格未取得に限る)	3,000円

7. 募集対象・人数 産業・組織心理臨床で働くことを希望する臨床心理士/大学院生

シリーズ全体の構成・テーマ・講師等については、研修スケジュールの本講座 (NO.17) の前の欄に表示しておりますのでご参照ください。

8. 研修ポイント 1回につき2ポイントを申請する。

9. 申し込み方法: (社) 日本臨床心理士会 WEB ページよりお申し込みください。



10. 会場及び事務局へのアクセス



会場は、太陽館ビル 202

尚、一般社団法人 日本臨床心理士会事務局は
〒113-0033 東京都文京区本郷 2-27-8 太陽館ビル 401
メール: office@jsccp.jp
電話: 03-3817-6801 FAX: 03-3817-6802

交通機関

1. 「丸の内線」(東京メトロ) 『本郷三丁目』 駅出口から徒歩 1 分
2. 「大江戸線」(都営地下鉄) 『本郷三丁目』 駅出口から徒歩 4 分